LS500/LS500h “F SPORT PARTS (MODELLISTA)”

リヤスカート　取付要領書

品番 ガソリン車 D2641-54810-XX MSD43-50001/2-XX
品番 ハイブリッド車 D2641-54820-XX MSD43-50003/4-XX

設定型式:VXFA5#-AEUQT/GVF5#-AEVQH　　設定グレード:全車

このたびは、モデリスタ商品をお買い上げ頂きましてありがとうございます。
本書は、**リヤスカート**の取付要領について記載してあります。
取り付け前に必ずお読み頂き、正しい取り付けを行なって下さい。

取り付け上の注意事項

★ 本商品は登録後架装を前提としています。

■取り付ける前に車両に傷がついていないか点検して下さい。
■エンジンがかかっている状態では絶対に作業を行なわないで下さい。
■車両部品の取り外しに際して、紛失や混乱がない様に部品ごとに整理して、復元する際、間違えない様に配慮して下さい。また、部品に傷を付けたりしない様に取り扱いに注意して作業を行なって下さい。
■本書で指示した部品以外は、取り外さない様に注意して下さい。
■商品の仮合せ時等においては、マスキングテープ等で車両側への傷付き防止策を行なった上で実施下さい。
■**リヤスカート**を取り付ける部分の汚れ、ゴミ、ホコリをウエスで拭き取って下さい。
■エンドモール(両面テープ付き)・両面テープを貼り付ける部分は、**必ず脱脂して下さい。**
脱脂作業を怠ると両面テープを接着しても剥がれる場合があります。
■両面テープの接着力促進剤として、**必ず両面テープ用プライマーを塗って下さい。**
(**PACプライマーK500**を本品に添付)
重要 プライマーの効力を発揮させる為、塗布後、**常温で１０分間以上放置し乾燥させて下さい。**
重要■両面テープは、外気温が**１５℃以下になると接着力が低下します**ので、両面テープ及び被接着面をドライヤー等で温めてから貼り付け作業を行なって下さい。
■両面テープのプライマーは、特に白色塗装面を黄変させますので必ず塗装面をマスキングし、はみだしたプライマーは、アルコール等で完全に拭き取って下さい。
■**ボディーコートが塗布されている車両は塗装用コンパウンドでボディーコートを剥離して下さい。**（必ずマスキングし、なるべく細かい番手で行なう。）ボディーコートが塗布されている車両は脱脂作業を行なっても、プライマーの接着力促進効果を充分に発揮できない場合があります。ボディーコート除去後は、アルコール等で脱脂をきちんと行なって下さい。
重要■両面テープの圧着を十分に行なって下さい。500kPa (5kgf/cm)以上
重要■**リヤスカート**固定用の**ビス本締めは両面テープ貼り付け後３時間以上放置後**行なって下さい。

取り付け完了後の点検・注意事項

■**リヤスカート**が、車両バンパーに確実に共締めされているか点検して下さい。
■両面テープの全ての離型紙が剥がされ、確実に圧着されているか点検して下さい。
■取り付け完了後、**リヤスカート**及び車両部品に傷がついていないか点検して下さい。
■取り付け完了後、**最低３時間**は強い力をかけたり、雨等で濡れない様注意して下さい。
(両面テープの剥がれ、車両バンパーと**リヤスカート**との間に隙間が発生する恐れがあります。)

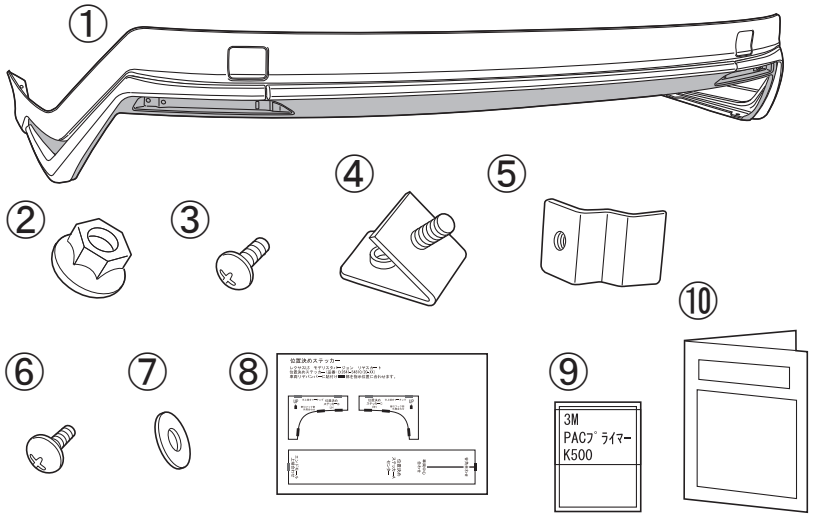
アドバイス…この取付要領書では、スピーディーに安全な作業をして頂く上で知っておいて頂きたい事を左図マークで表示しております。

LS500/LS500h “F SPORT PARTS (MODELLISTA)”

リヤスカート

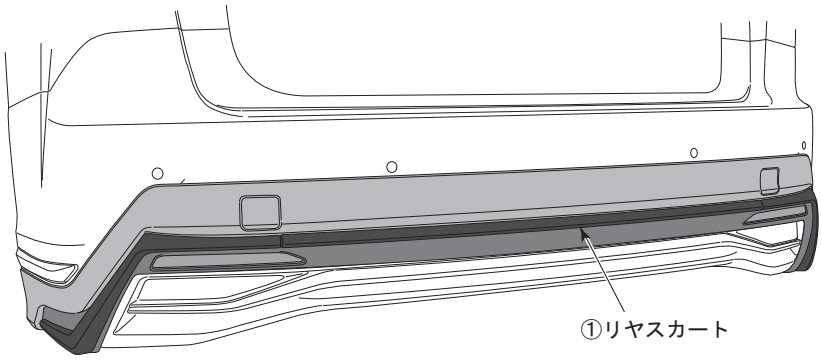
品番：ガソリン車　D2641-54810-XX　MSD43-50001/2-XX
品番：ハイブリッド車　D2641-54820-XX　MSD43-50003/4-XX

構成部品



No.	品　　名	個数
①	リヤスカート	1
②	フランジ付ナットM5	2
③	トラススクリューM5×10	2
④	ブラケットNo. H062	2
⑤	ブラケットNo. H063	2
⑥	トラススクリューM4×8	2
⑦	ワッシャーM4	2
⑧	位置決めステッカー	1
⑨	PACプライマーK500	1
⑩	取付要領書	1

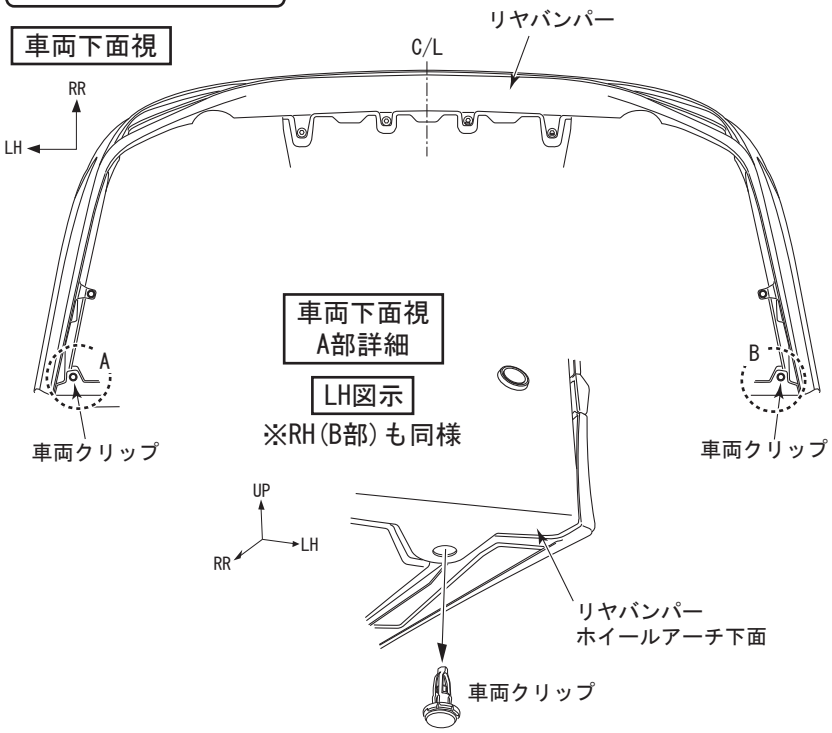
取り付け概要



取　付　手　順

(1)取り付け準備

車両下面視

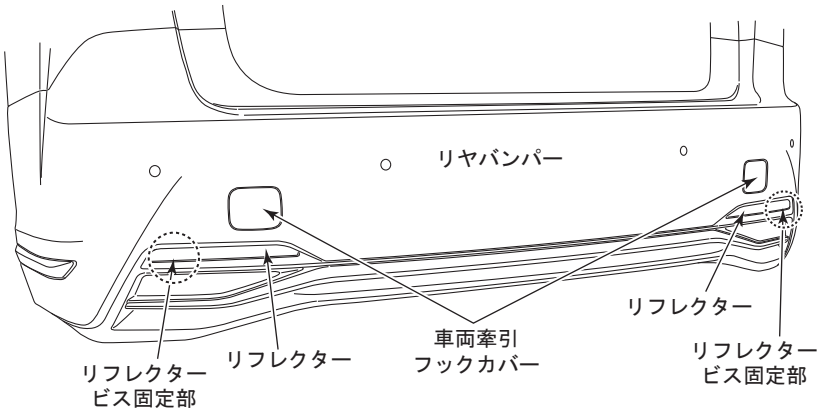


1. リヤバンパーホイールアーチ下面、左図示A,B部の車両クリップを取り外す。
（左右各1カ所　計2カ所）

アドバイス

・取り外した車両クリップは再使用しますので、紛失しない様ご注意下さい。

(2)取り付け準備

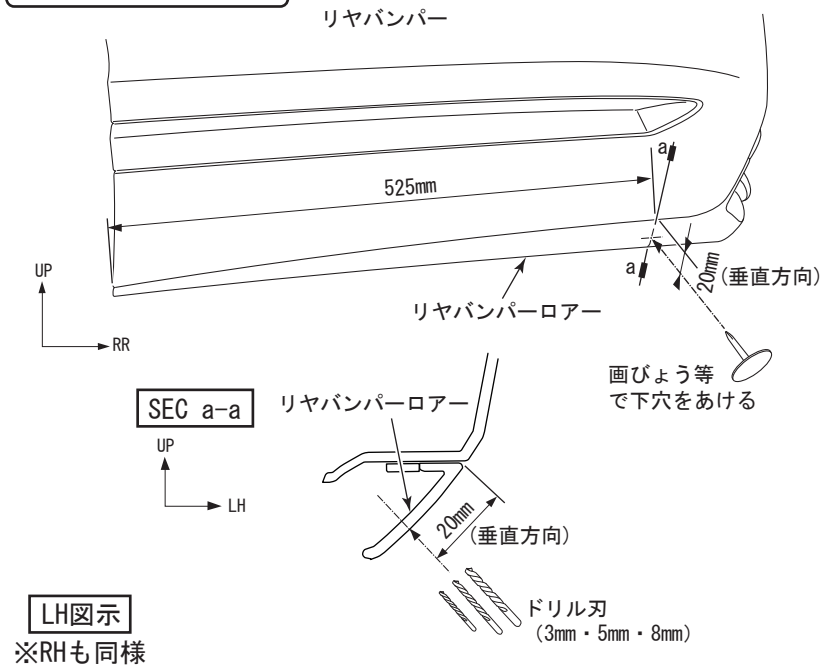


1. リヤバンパーの車両牽引フックカバーを取り外す。　（左右各1カ所　計2カ所）
2. リヤバンパーのリフレクターをリヤバンパー裏側から◌印部のビスを外し、取り外す。（左右各1カ所　計2カ所）

アドバイス

- 取り外しの詳細は、トヨタ自動車発行の修理書をご参照下さい。
- リフレクターは後の工程でリヤスカートへ移設しますので、本体及びビスを破損、紛失しないよう注意して下さい。
- 取り外した車両牽引フックカバーは紛失しないように保管して下さい。
  ※再使用なし

(3)取り付け準備



1. 左図参考寸法に従い、リヤバンパーロアー側面にケガキ針又は画びょう等で下穴をあける。（左右各1カ所　計2カ所）

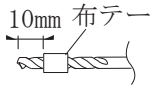
アドバイス

- 左図寸法を参考に、左右のバランスを考慮して合わせ、マークしてください。

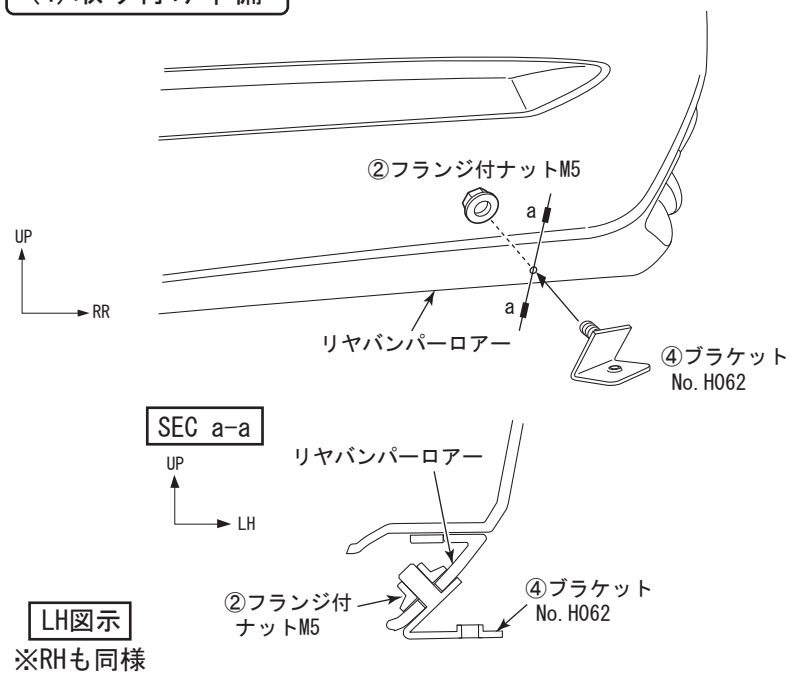
2. リヤバンパーロアー側面のけがき位置にドリルで下穴φ3mm、φ5mm、正規穴φ8mmの順に穴をあける。（左右各1カ所　計2カ所）
3. 穴周りに出来たバリを取り、仕上げる。

アドバイス

- 突き抜け防止の為、ドリル先端から10mmのところに布テープを巻き付けて下さい。

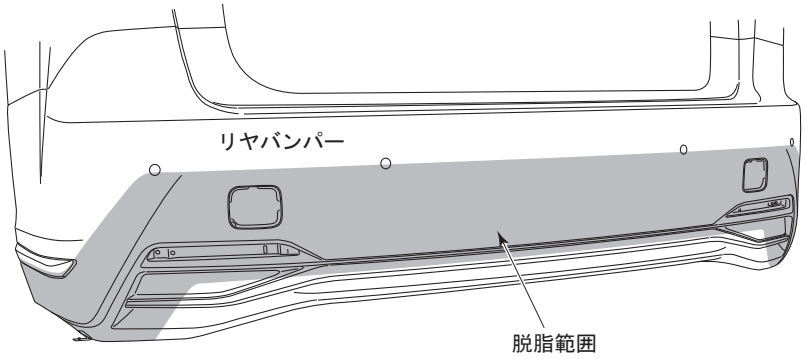


(4)取り付け準備



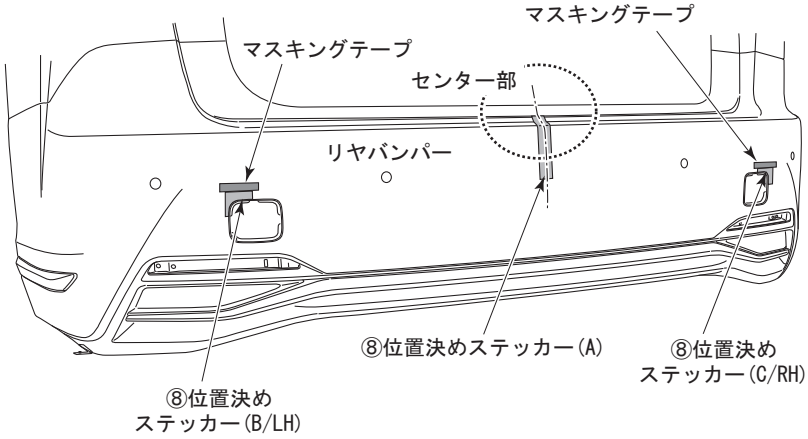
1. (3)-2であけた穴へ④ブラケットNo. H062を差し込み、リヤバンパーロアー裏側より②フランジ付ナットM5で仮固定する。（左右各1カ所　計2カ所）

(5)取り付け準備

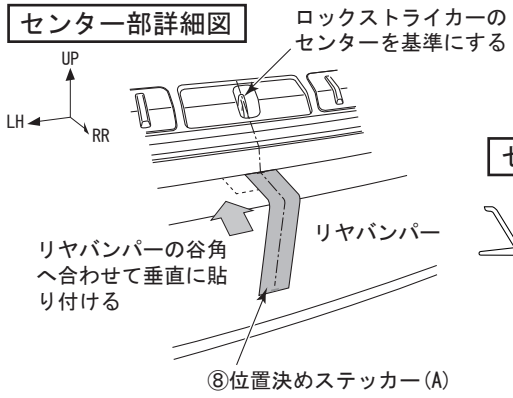


1. 左図 ■ 部を脱脂する。

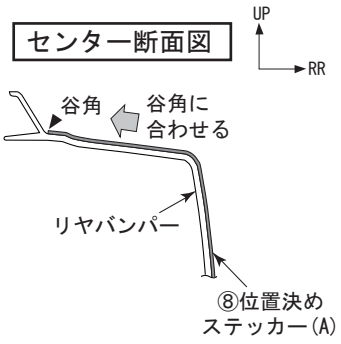
(6)取り付け準備



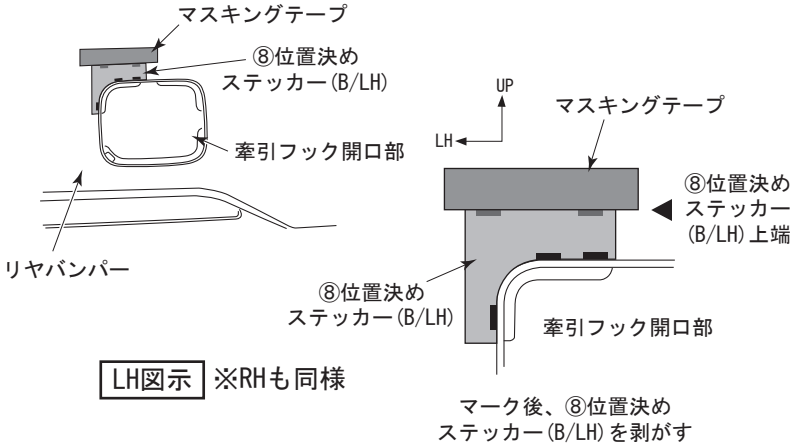
センター部詳細図



センター断面図



牽引フック開口部詳細図



LH図示 ※RHも同様

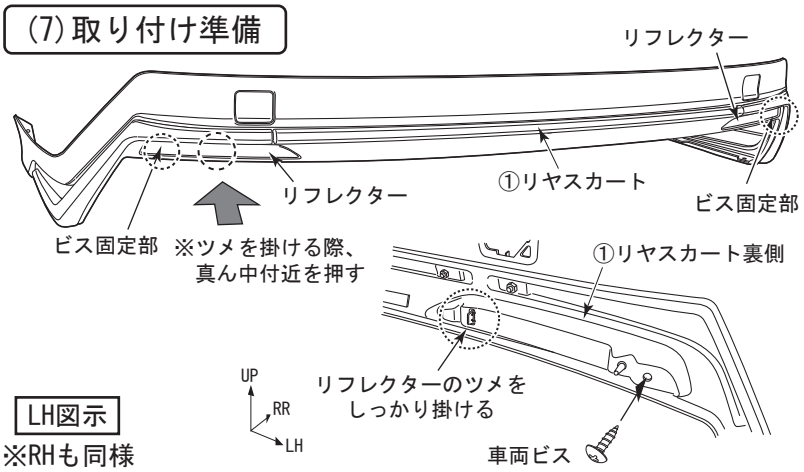
マーク後、⑧位置決め
ステッカー(B/LH)を剥がす

1. リヤバンパーのセンター位置を出し、⑧位置決めステッカー(A)を垂直に貼り付ける。
2. リヤバンパーの牽引フック開口部へ、⑧位置決めステッカー(B/LH),(C/RH)を貼り付ける。
3. ⑧位置決めステッカー(B/LH),(C/RH)記載の指示に従い、上端部へマスキングテープでマークする。
4. マーク後、⑧位置決めステッカー(B/LH),(C/RH)を剥がす。

アドバイス

・⑧位置決めステッカー(A)は必ず垂直に貼り付けて下さい。
また、⑧位置決めステッカー(A)(B/LH),(C/RH)は製品の合わせ位置になりますので、浮き等の無い様に、正確に貼り付けて下さい。

(7)取り付け準備

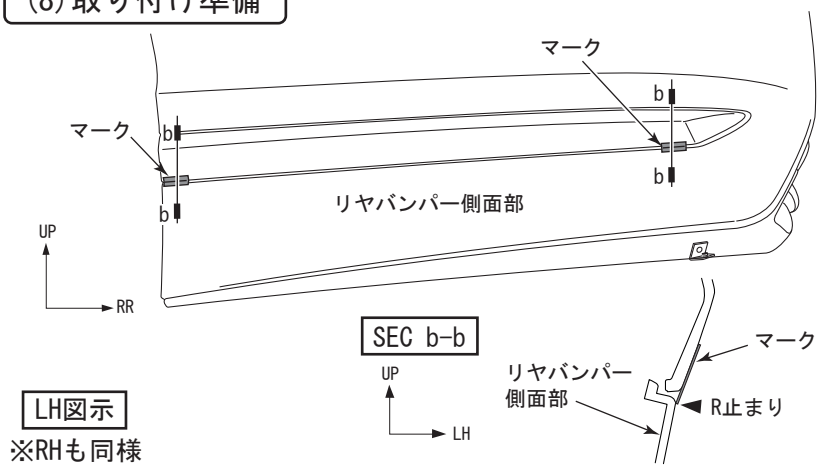


LH図示
※RHも同様

1. (2)-2でリヤバンパーから取り外したリフレクターを①リヤスカートへ車両ビスで取り付ける。
その際、リフレクターのツメが①リヤスカートへしっかり掛かっていることを確認する。　(左右各1カ所　計2カ所)

アドバイス
・ツメを掛ける際、リフレクター表側の真ん中付近を押すと掛かりやすくなります。

(8)取り付け準備

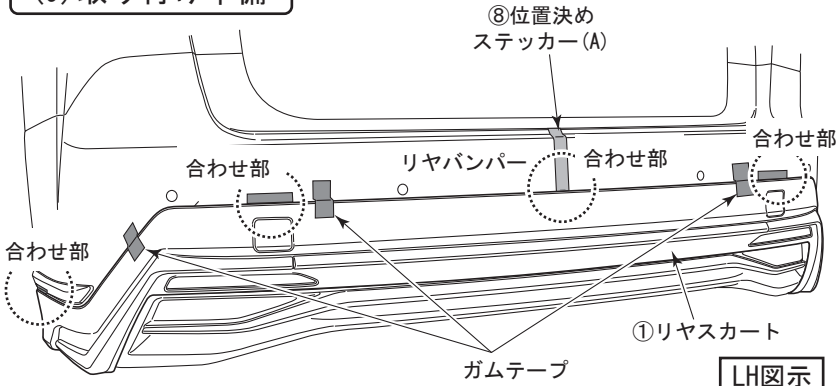


LH図示
※RHも同様

1. 左図に従い、リヤバンパー側面部にマスキングテープでマーキングする。
(左右各2カ所　計4カ所)

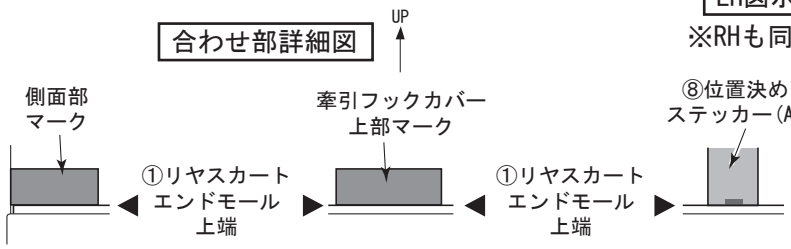
アドバイス
・左図を参考に、左右のバランスを考慮して合わせ、マークしてください。

(9)取り付け準備



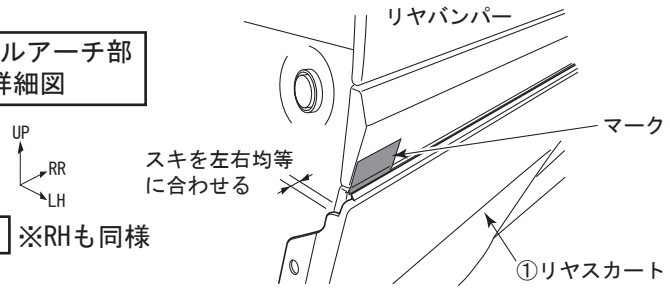
LH図示
※RHも同様

合わせ部詳細図



側面部のマーク及び⑧位置決めステッカー(A)、牽引フックカバー上部のマークの下端と①リヤスカートエンドモール上端を合わせる

ホイールアーチ部
詳細図

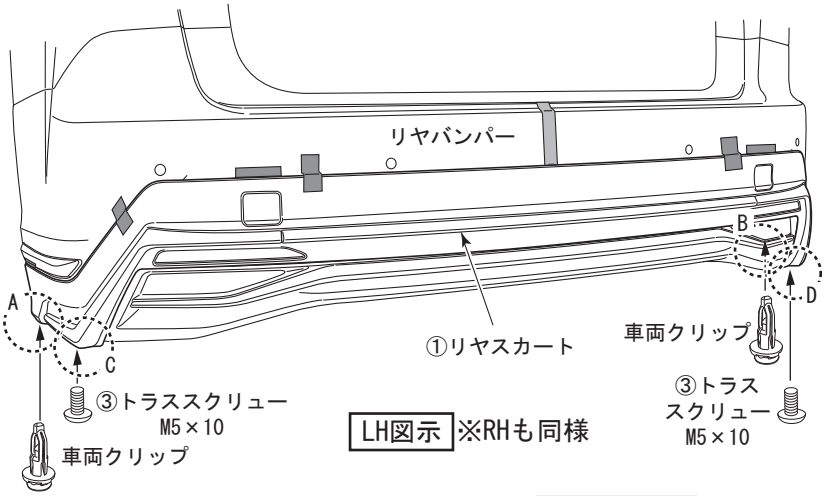


LH図示　※RHも同様

1. ①リヤスカートをリヤバンパー側面部のマーク及びセンター部の⑧位置決めステッカー(A)、牽引フックカバー上部のマークに合わせて仮あてをし、ガムテープで仮固定する。

アドバイス
・位置決めの際、ホイールハウス部の左右のスキを均等にして下さい。

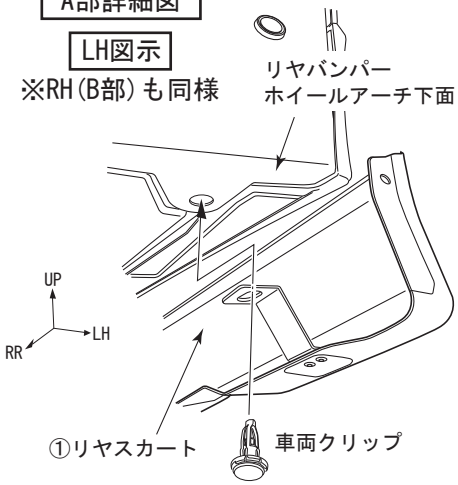
(10)取り付け準備



LH図示 ※RHも同様

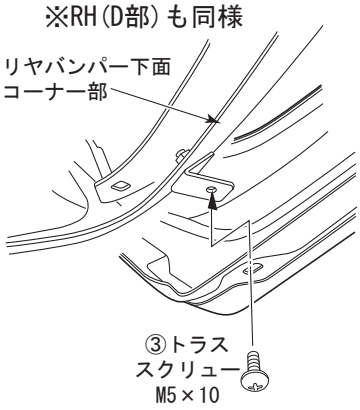
車両下面視
A部詳細図

LH図示
※RH(B部)も同様



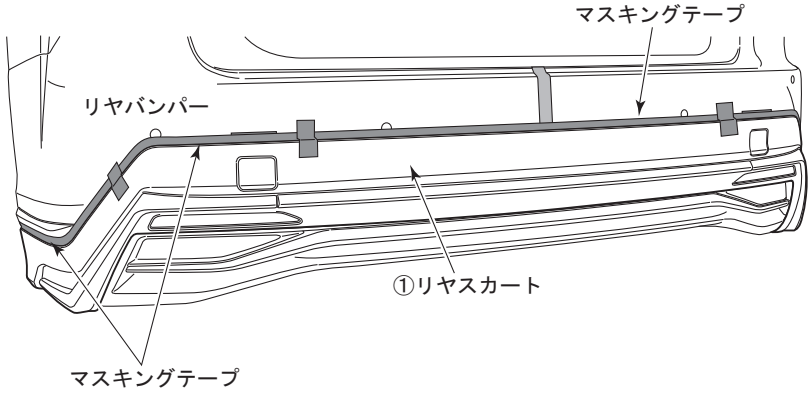
車両下面視
C部詳細図

LH図示
※RH(D部)も同様



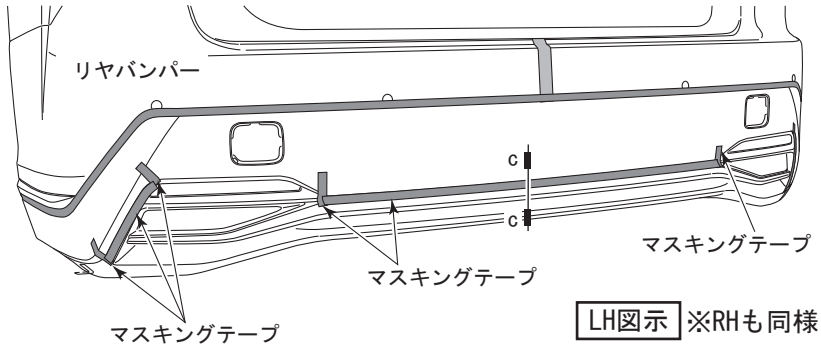
1. ①リヤスカート下面図示A,B部を車両クリップで固定する。　(2カ所)
2. ①リヤスカート下面図示C,D部を③トラススクリューM5×10で仮固定する。　(2カ所)

(11)取り付け準備



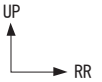
1. プライマー塗布の為に、①リヤスカートの上部に貼り付けてあるエンドモール上端に合わせてマスキングテープでマスキングする。
2. ①リヤスカートを一旦取り外し、中央下部及びコーナー下部を図示の要領でマスキングする。

①リヤスカートを一旦取り外す

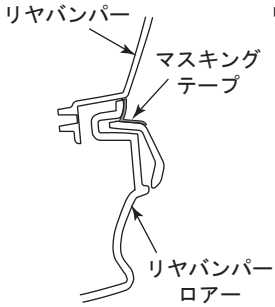


LH図示 ※RHも同様

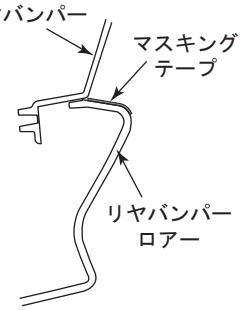
SEC c-c



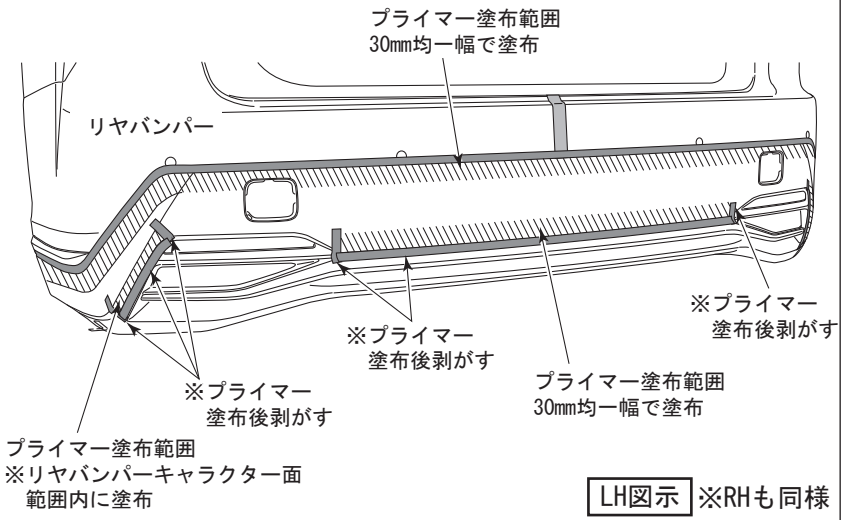
ハイブリッド車
断面図



ガソリン車
断面図



(12)取り付け準備



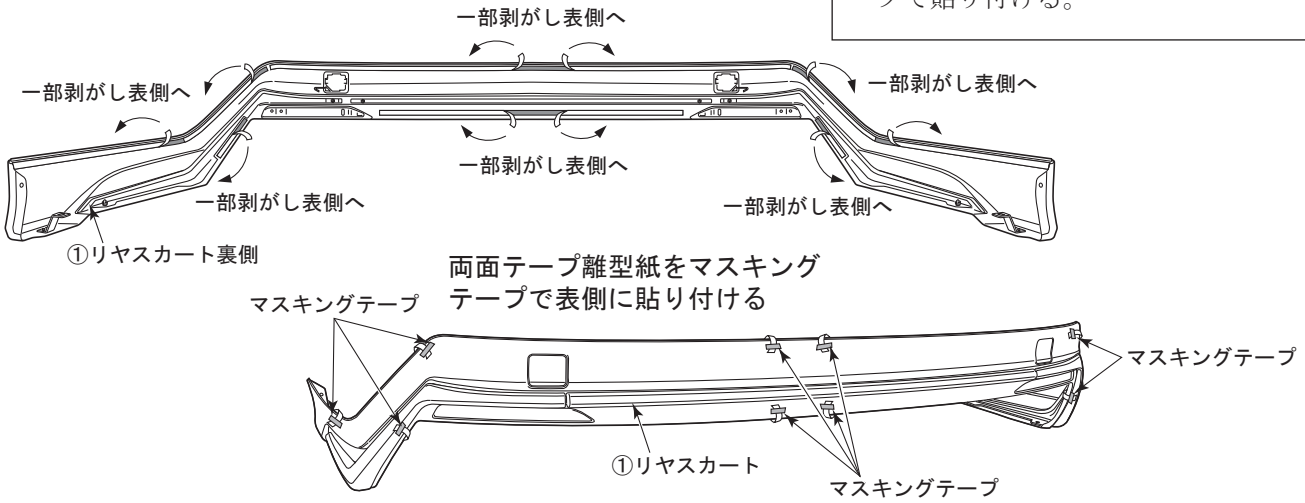
LH図示 ※RHも同様

1. 両面テープ貼り付け部（左図斜線部)に⑨PACプライマーK500を塗布する。
2. ⑨PACプライマーK500塗布後、中央下部及びコーナー下部のマスキングテープは剥がして下さい。

アドバイス

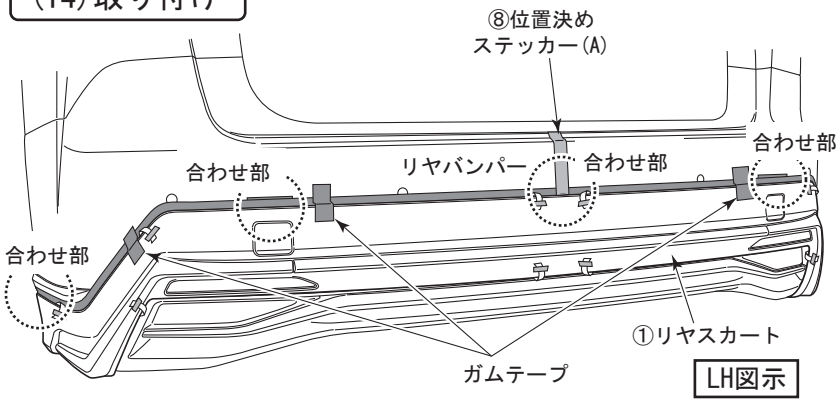
- **⑨PACプライマーK500**は特に白色塗装面を黄変させますので、マスキングするか、はみ出したプライマーは、アルコール等で拭き取って下さい。
- **⑨PACプライマーK500塗布後**は、**常温で10分間以上**放置し乾燥させて下さい。
- ボディーコート処理されている車両は、マスキングをして両面テープ貼り付け部を塗装用コンパウンドで除去して下さい。

(13)取り付け準備



1. ①リヤスカートの両面テープ離型紙を一部剥がし、表面に折り返してマスキングテープで貼り付ける。

(14)取り付け



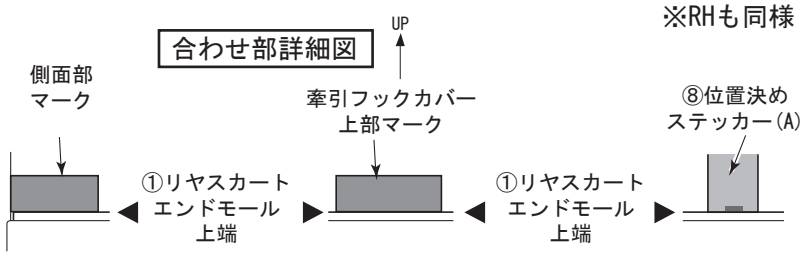
LH図示
※RHも同様

1. ①リヤスカートをリヤバンパー側面部のマーク及びセンター部の⑧位置決めステッカー(A)、牽引フックカバー上部のマークに合わせて仮あてをし、ガムテープで仮固定する。

アドバイス

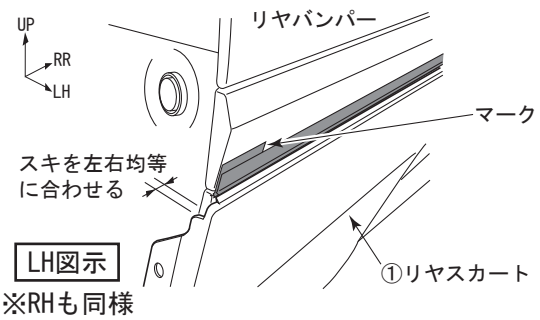
- 位置決めの際、ホイールハウス部の左右のスキを均等にして下さい。

合わせ部詳細図



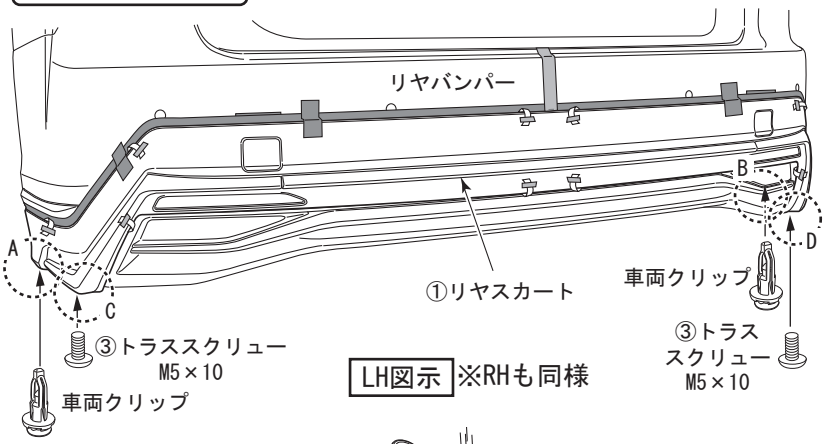
側面部のマーク及び⑧位置決めステッカーA、牽引フックカバー上部のマークの下端と①リヤスカートエンドモール上端を合わせる

ホイールハウス部詳細図



LH図示
※RHも同様

(15)取り付け

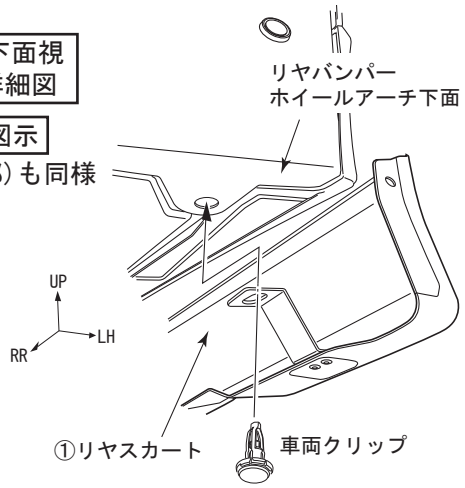


LH図示 ※RHも同様

1. ①リヤスカート下面図示A,B部を車両クリップで固定する。　(2カ所)
2. ①リヤスカート下面図示C,D部を③トラススクリューM5×10で仮固定する。　(2カ所)

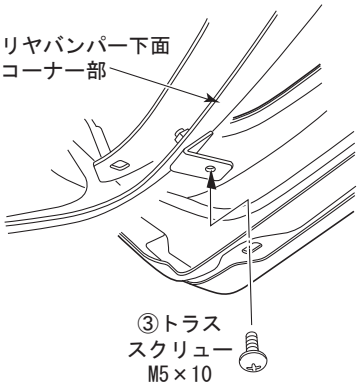
車両下面視
A部詳細図

LH図示
※RH(B部)も同様

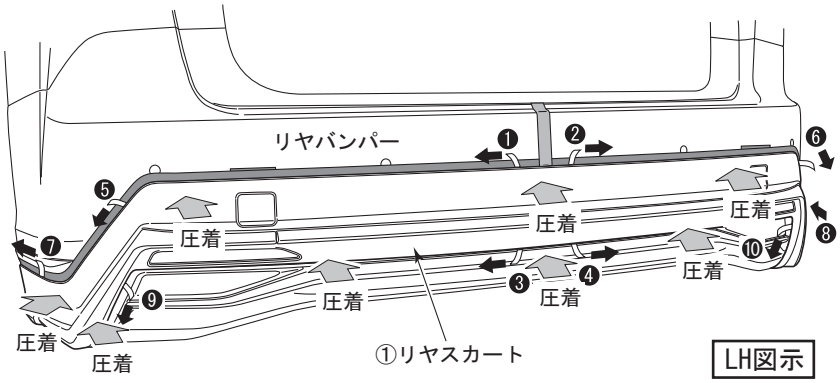


車両下面視
C部詳細図

LH図示
※RH(D部)も同様



(16)取り付け



LH図示
※RHも同様

1. 両面テープ離型紙を図示❶～❿の順に引き抜きながら圧着する。

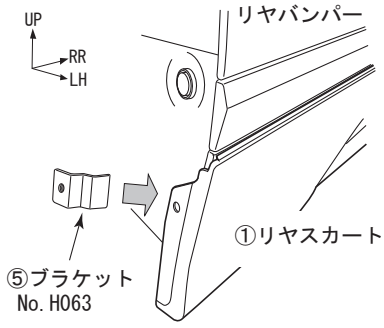
アドバイス

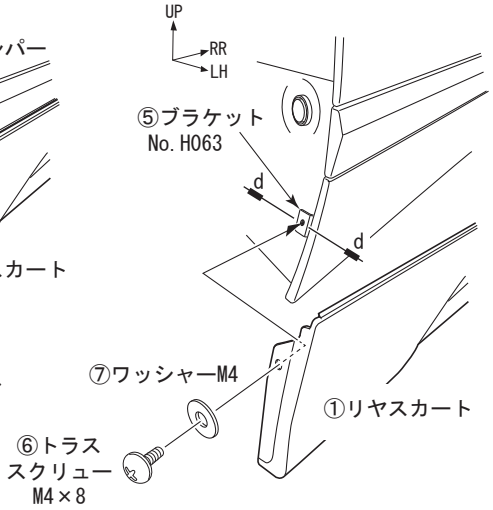
・両面テープの圧着力は500kPa（5kgf/㎠）以上で行なって下さい。

重要

2. 浮き、剥がれ、傷等が無い事を確認し、**再圧着**する。
3. 全ての位置決めステッカー及び、マスキングテープを剥がす。

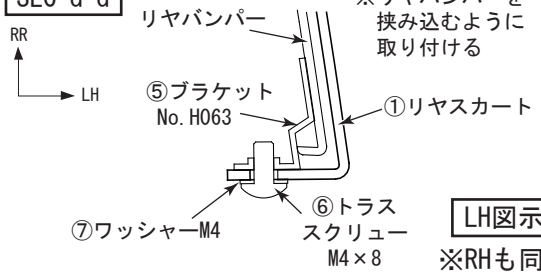
(17)取り付け





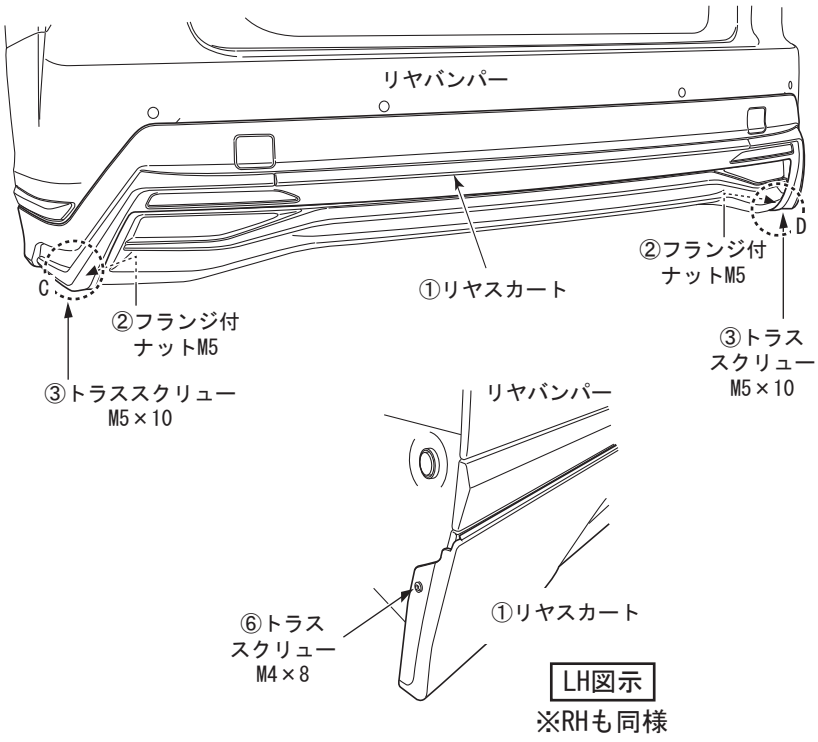
1. ①リヤスカートホイールアーチ折り返し面の穴位置に合わせ、図示の要領で⑤ブラケットNo. H063を⑥トラススクリューM4×8と⑦ワッシャーM4で固定する。
（左右各1カ所　計2カ所）

SEC d-d



LH図示
※RHも同様

(18)取り付け

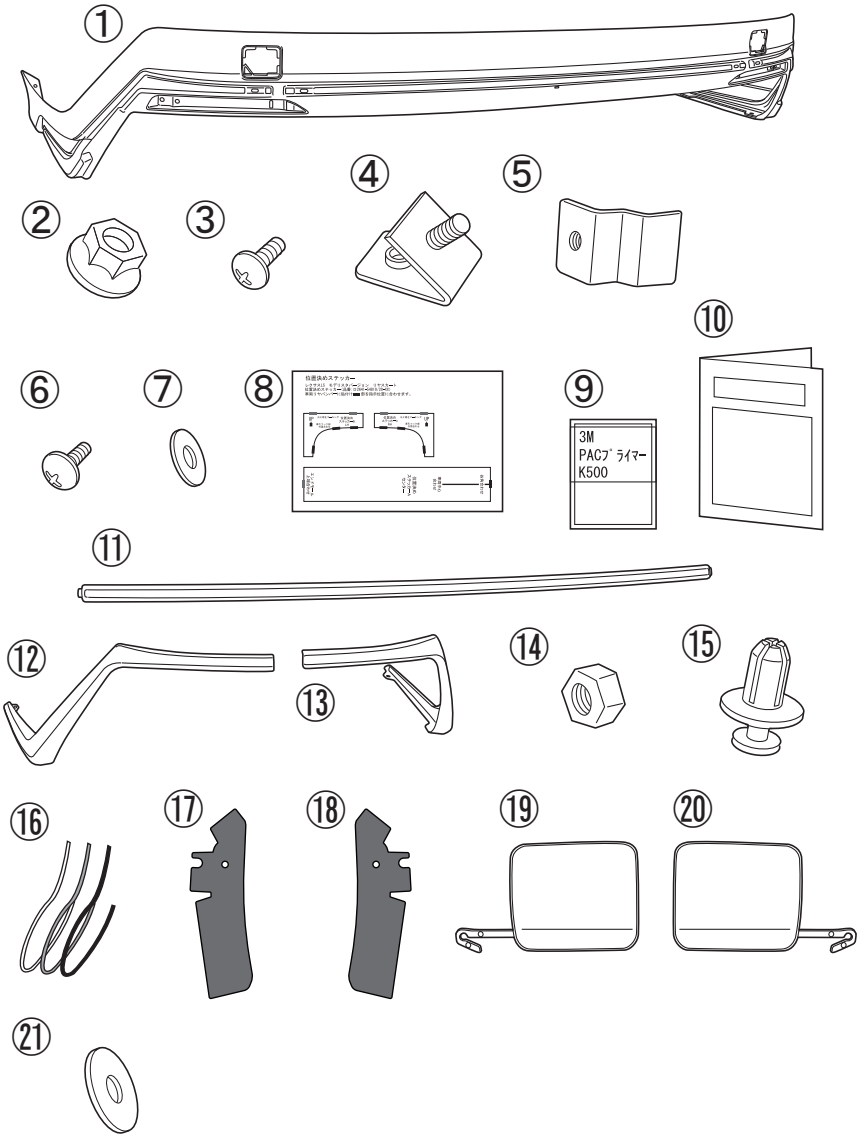


取付ビス(4カ所)、ナット(2カ所)を本締めする

1. 全ての両面テープ接着面を３時間後に全て**本圧着**する。
2. 図示C,D部の③トラススクリューM5×10及びホイールアーチ折り返し面の⑥トラススクリューM4×8を本締めする。
   (左右各2カ所　計4カ所)
3. 図示C,D部の④ブラケットNo.H062を仮固定した②フランジ付ナットM5を本締めする。
   (左右各1カ所　計2カ所)

リヤスカート素地品の塗装手順

構成部品



No.	品　　名	個数
①	リヤスカート	1
②	フランジ付ナットM5	2
③	トラススクリューM5×10	2
④	ブラケットNo.H062	2
⑤	ブラケットNo.H063	2
⑥	トラススクリューM4×8	2
⑦	ワッシャーM4	2
⑧	位置決めステッカー	1
⑨	PACプライマーK500	1
⑩	取付要領書	1
⑪	メッキパーツCTR	1
⑫	メッキパーツLH	1
⑬	メッキパーツRH	1
⑭	ナットM5	4
⑮	クリップ	2
⑯	エンドモール	ﾗｲﾄｸﾞﾚｰ：1 ﾀﾞｰｸｸﾞﾚｰ：1 黒：1
⑰	ブラックアウトステッカーLH	1
⑱	ブラックアウトステッカーRH	1
⑲	牽引フックカバーLH	1
⑳	牽引フックカバーRH	1
㉑	スペーサーM5	4

⑯エンドモール推奨使用色

色番号	色 名 称	モール色
083	ホワイトノーヴァガラスフレーク	ライトグレー
085	ソニッククォーツ	ライトグレー
1J2	ソニックシルバー	ダークグレー
1J7	ソニックチタニウム	黒
1K2	マンガンラスター	黒
1L2	ソニックイリジム	ダークグレー
1L3	銀影ラスター	ダークグレー
212	ブラック	黒
223	グラファイトブラックガラスフレーク	黒
3R1	レッドマイカクリスタルシャイン	黒
3U3	ソニックアゲート	黒
4U7	スリークエクリュメタリック	ダークグレー
4X2	アンバークリスタルシャイン	黒
8X1	ヒートブルーコントラストレイヤリング	黒
8X5	ディープブルーマイカ	黒

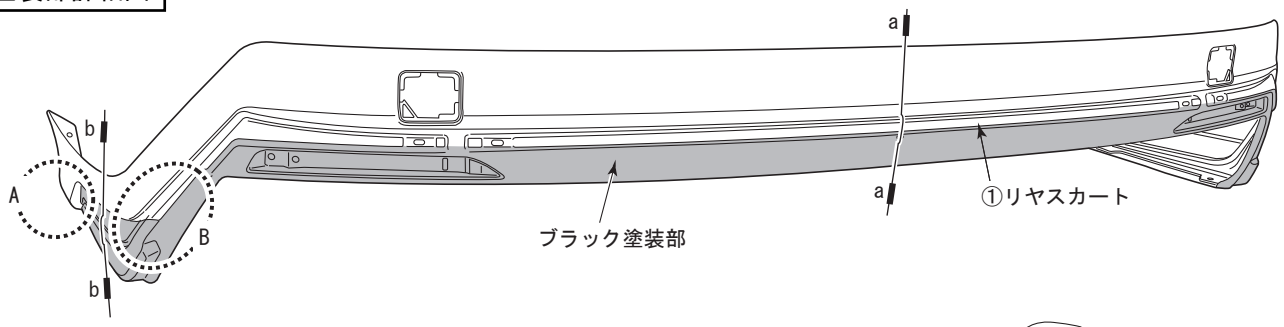
(1)塗装作業

1. 塗装面の汚れ、ゴミ、ホコリをウエスで取り除き、必ず脱脂を行なう。
   ※①リヤスカート及び⑲⑳牽引フックカバーLH/RHを塗装する。

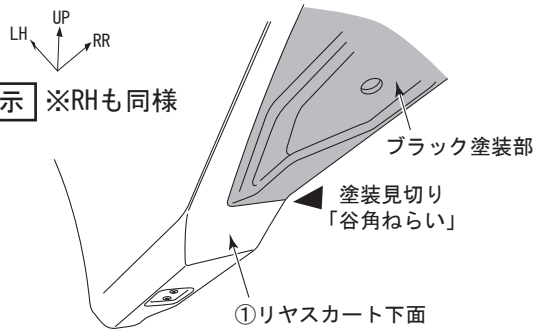
アドバイス
- 脱脂は手早く行ない、十分溶剤を揮発させてから次の作業を行なって下さい。
- もし、ペーパー等で素材を研摩する場合は、必ずペーパーの番手を＃600以上で完了して下さい。

2. 製品に貼り付けてある両面テープをマスキングする。
3. **プライマー塗装を行なう。（本品の材質はPPEです。）**
   注記：上塗り用の塗料は**ウレタン系**をご使用下さい。
4. 上塗り塗装を行なう。
   注記：上塗り用の塗料は**ウレタン系**をご使用下さい。
5. 図示部をブラックに塗装する際は、図示要領でマスキングする。
   ※ブラック塗装はつや消しブラックで塗装して下さい。
6. 乾燥
   注記：乾燥温度は、成形樹脂の物性上、必ず**60℃以下**で乾燥させて下さい。

塗装部詳細図

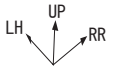


A部詳細図



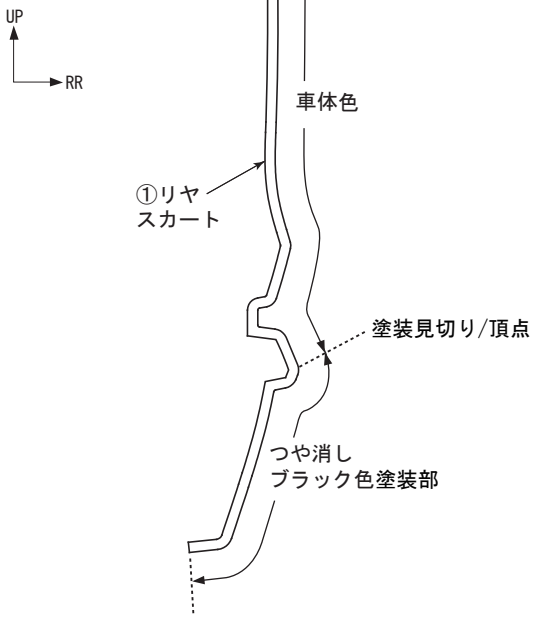
LH図示 ※RHも同様

B部詳細図

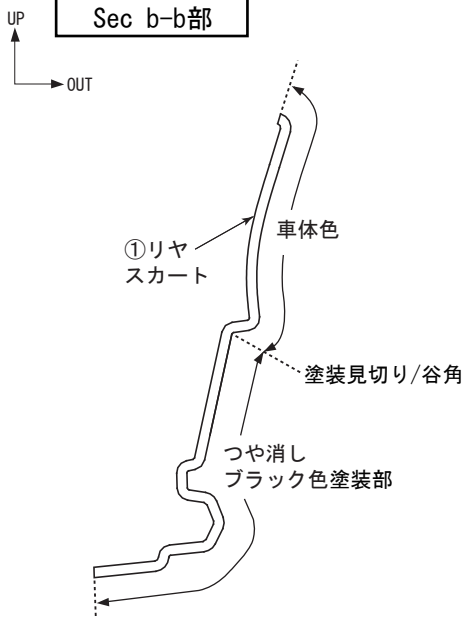


LH図示 ※RHも同様

塗装部断面図
Sec a-a部



塗装部断面図
Sec b-b部



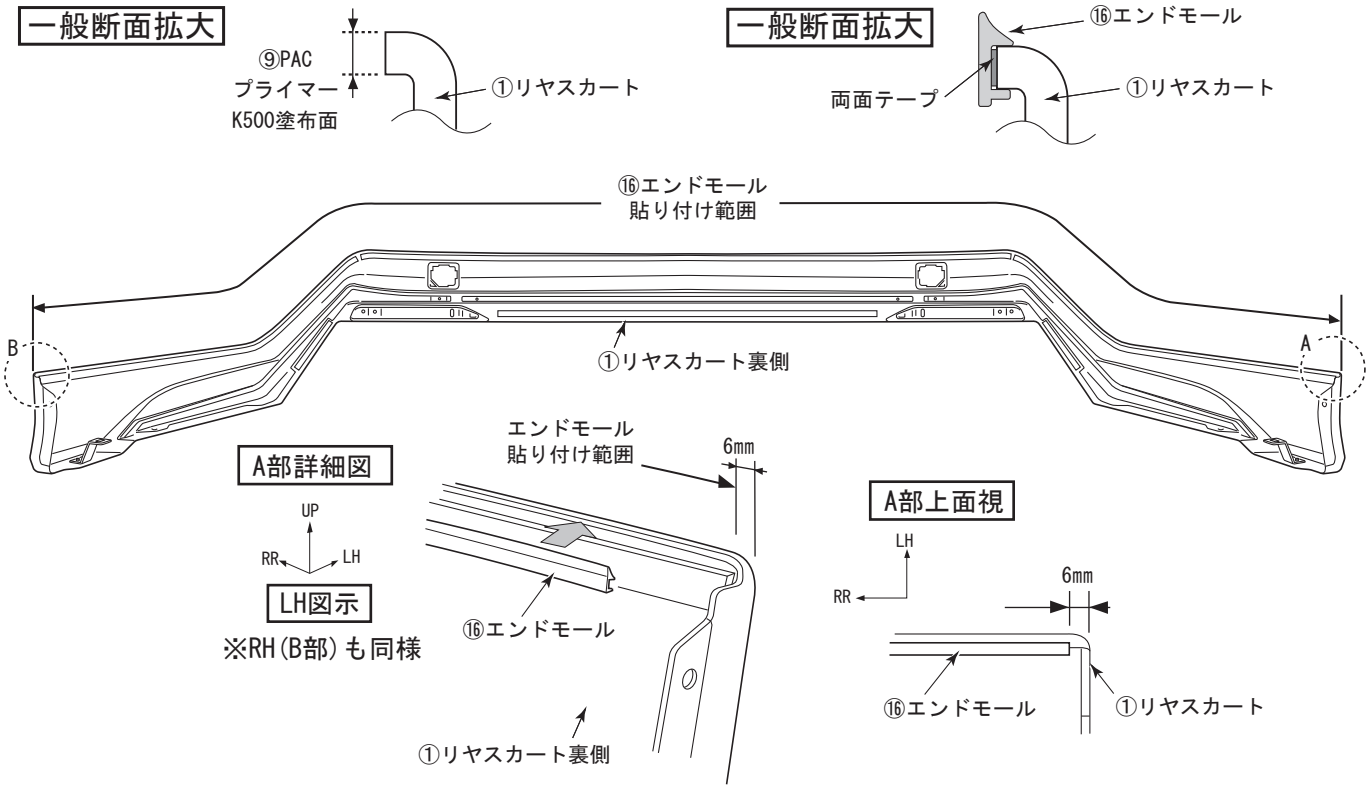
(2) エンドモールの貼り付け作業

1. 塗装終了後、⑯エンドモールを貼り付ける部分を脱脂し、⑨**PACプライマーK500**を塗布する。

アドバイス

- ⑨**PACプライマーK500**は特に**白色塗装面を黄変**させますので、マスキングするか、はみ出したプライマーは、アルコール等で拭き取って下さい。
- ⑨**PACプライマーK500**塗布後は、**常温で10分間以上**放置し乾燥させて下さい。

2. 下図の要領で⑯エンドモールを貼り付ける。

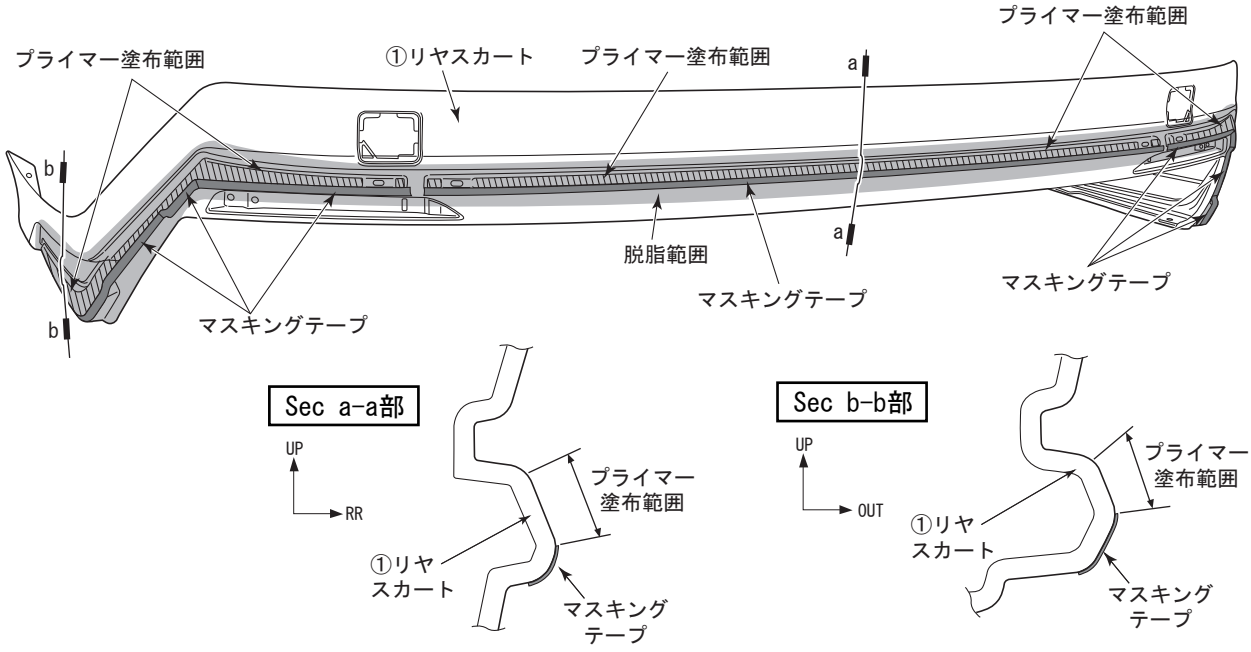


(3) メッキパーツの取り付け作業

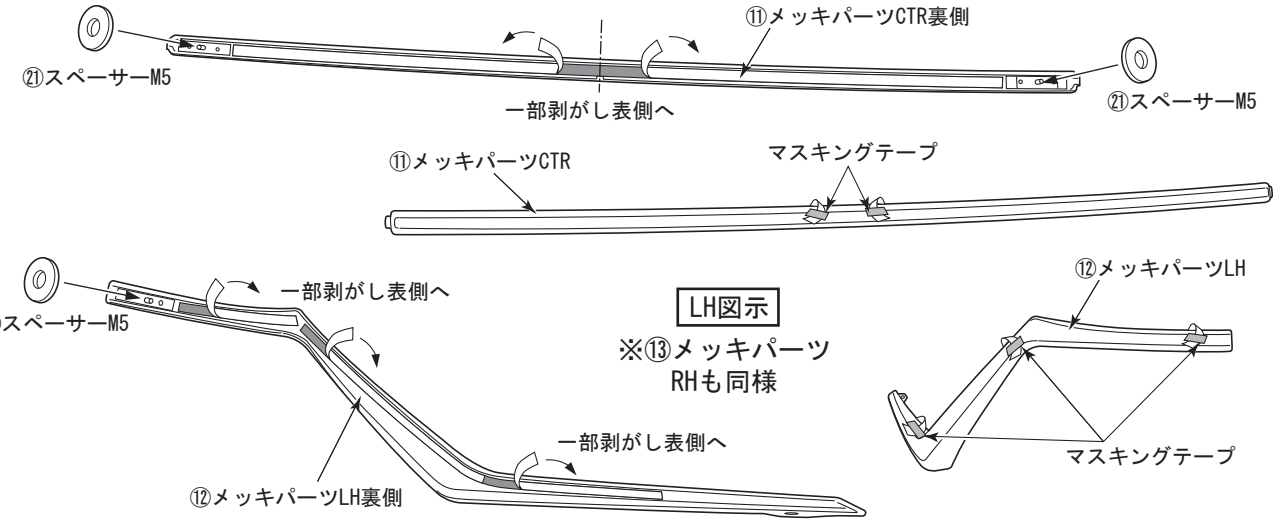
1. ⑪メッキパーツCTR、⑫メッキパーツLH、⑬メッキパーツRHを貼り付ける部分を脱脂し、マスキングテープでマスキングする。
2. 図示部に⑨**PACプライマーK500**を塗布する。
3. プライマー塗布後、全てのマスキングテープを剥がす。

アドバイス

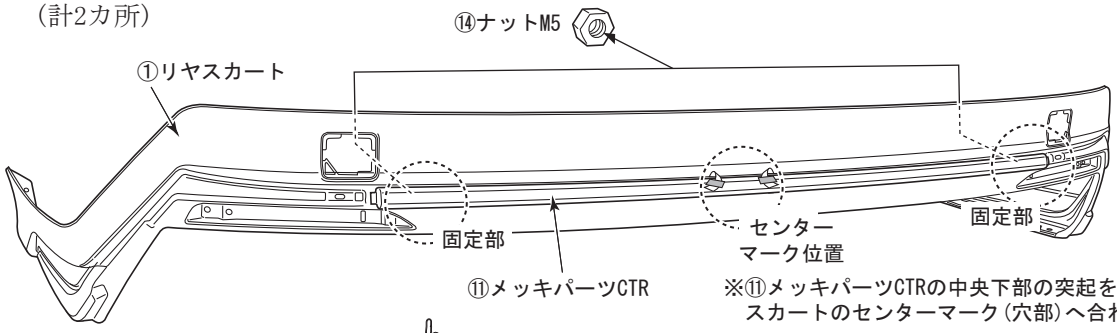
- ⑨**PACプライマーK500**は①リヤスカート取り付け時に再使用します。揮発性が高いので、速やかに袋に戻し揮発を抑えて下さい。
- ⑨**PACプライマーK500**は特に**白色塗装面を黄変**させますので、マスキングするか、はみ出したプライマーは、アルコール等で拭き取って下さい。
- ⑨**PACプライマーK500**塗布後は、**常温で10分間以上**放置し乾燥させて下さい。



4. ⑪メッキパーツCTR、⑫メッキパーツLH、⑬メッキパーツRHの両面テープ離型紙を一部剥がし、表側に折り返す。
5. ㉑スペーサーM5を⑪メッキパーツCTR、⑫メッキパーツLH、⑬メッキパーツRHのボルト部に入れる。
（CTR2カ所　LH/RH各1カ所）

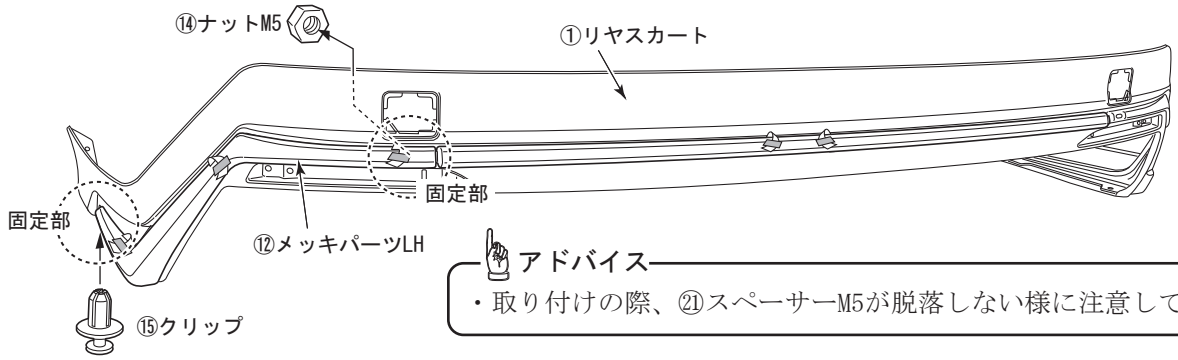


6. ①リヤスカートのセンターマーク穴部へ⑪メッキパーツCTRを合わせてあてがい、裏側から⑭ナットM5で仮固定する。　（計2カ所）



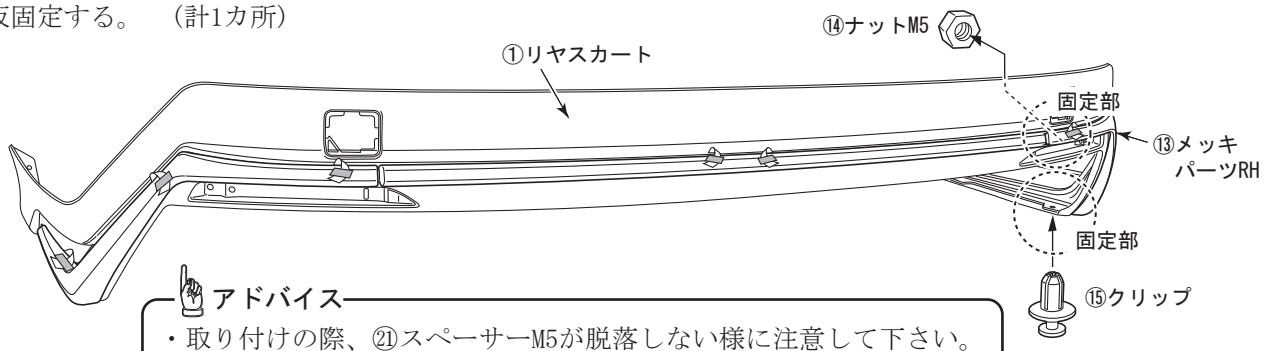
アドバイス
・取り付けの際、㉑スペーサーM5が脱落しない様に注意して下さい。

7. ①リヤスカート図示部へ⑫メッキパーツLHを合わせてあてがい、下面⑮クリップで固定後、裏側から⑭ナットM5で仮固定する。　（計1カ所）



アドバイス
・取り付けの際、㉑スペーサーM5が脱落しない様に注意して下さい。

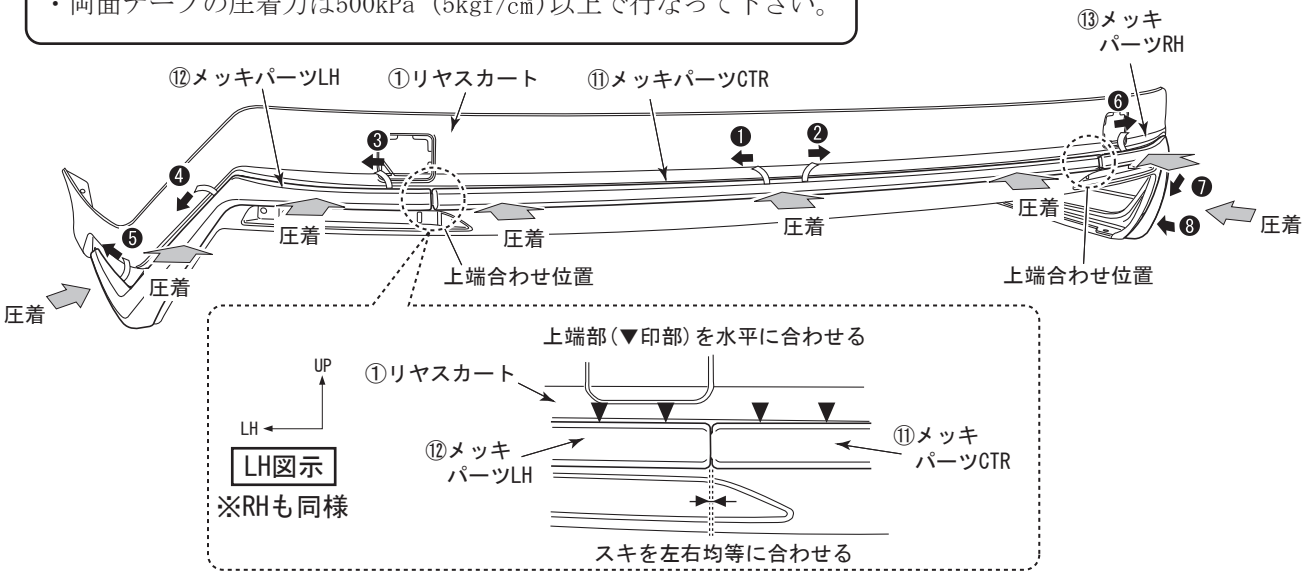
8. ①リヤスカート図示部へ⑬メッキパーツRHを合わせてあてがい、下面⑮クリップで固定後、裏側から⑭ナットM5で仮固定する。　（計1カ所）



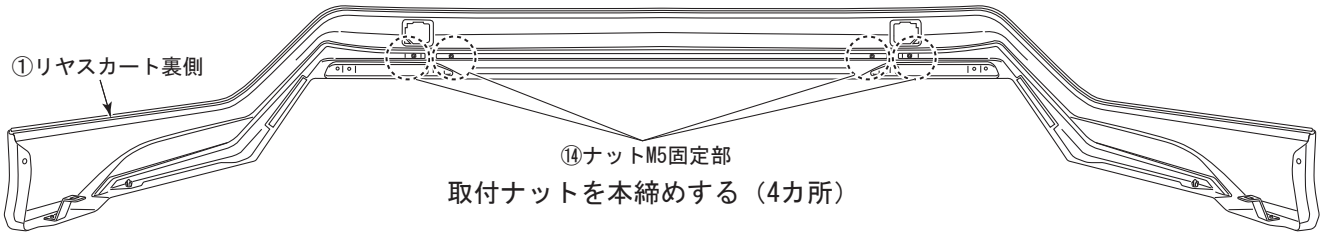
アドバイス
・取り付けの際、㉑スペーサーM5が脱落しない様に注意して下さい。

9. 両面テープ離型紙を図示❶～❽の順に引き抜きながら圧着する。
その際、図示 ◌ 部(それぞれのメッキパーツの重ね合わせ位置)の上端部を合わせ、スキが左右均等になるように取り付ける。

アドバイス
・両面テープの圧着力は500kPa（5kgf/㎠)以上で行なって下さい。



10. ①リヤスカート裏側の図示 ◌ 部の⑭ナットM5を本締めする。 （計4カ所）



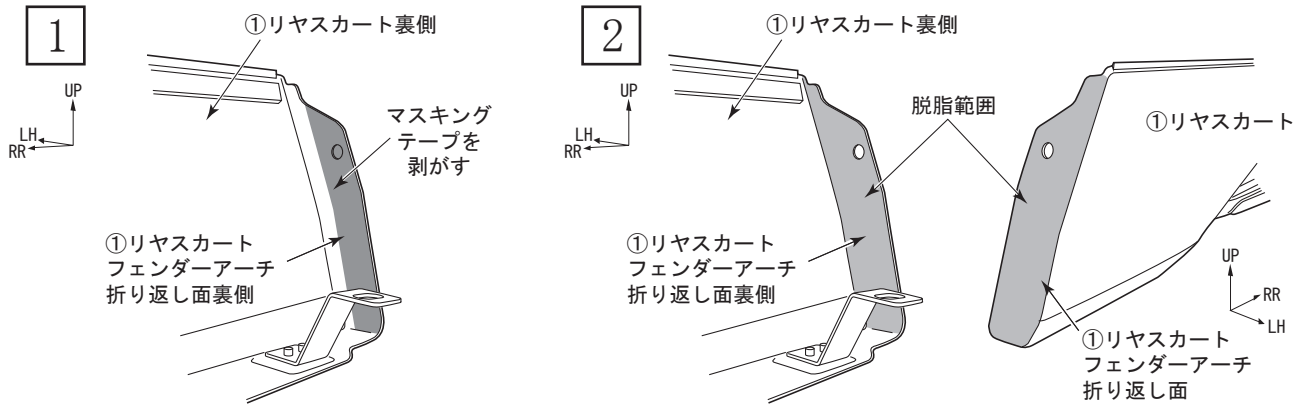
アドバイス
・ナット固定の際、合わせ位置がずれない様に注意して下さい。

(4) ブラックアウトステッカーの貼り付け作業

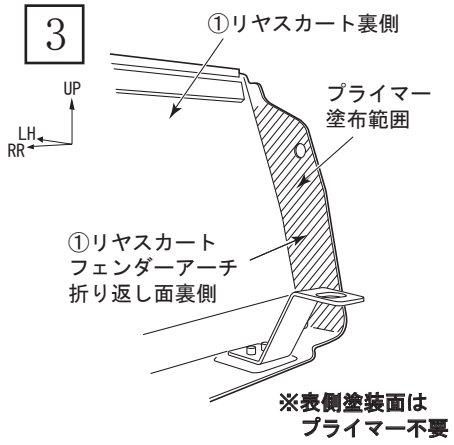
※LH側で説明しています。RH側も同様に貼り付けて下さい。

1. 塗装後、図示の①リヤスカートフェンダーアーチ折り返し面裏側のマスキングテープを剥がす。
2. 下図 ▬ 部を脱脂する。
3. 図示部に⑨PACプライマーK500を塗布する。（図示斜線部、**塗装面は不要**）
4. 塗装面を脱脂後、①リヤスカートフェンダーアーチ折り返し面に⑰ブラックアウトステッカーLHを図示の要領で合わせて貼り付ける。

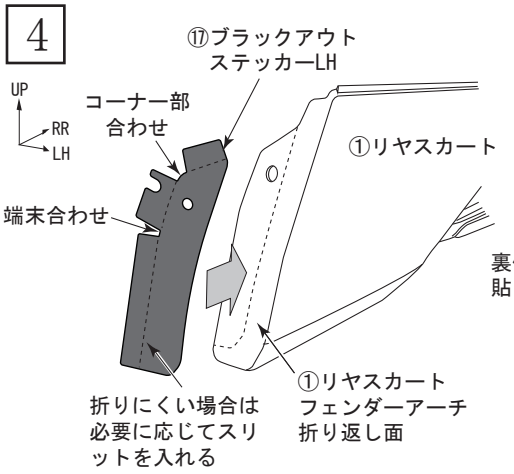
アドバイス
・①リヤスカートフェンダーアーチ折り返し面裏側のマスキングテープは、意匠面塗装時のミスト被り防止用のものなので、塗装前に剥がさない様に注意して下さい。

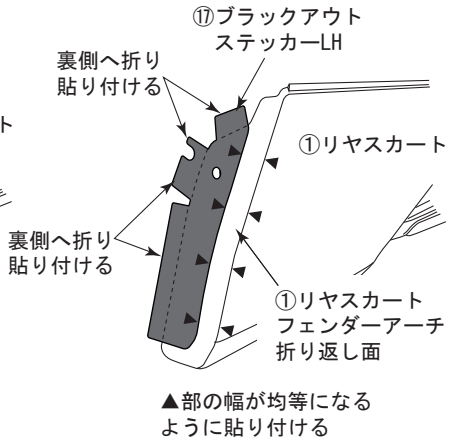


3



4



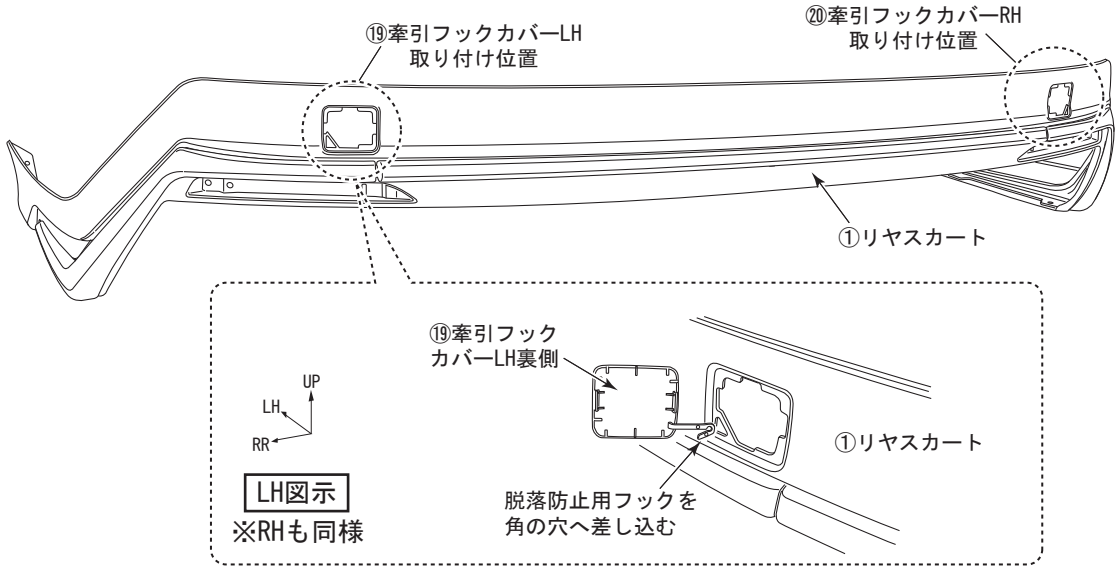


アドバイス

・⑰ブラックアウトステッカーLHを貼り付ける際、気泡、ゴミ等が入らない様に注意して下さい。
・⑰ブラックアウトステッカーLHの裏側に折り返していない部分からボディ色が見える場合は、つや消しブラックでタッチアップ塗装して下さい。

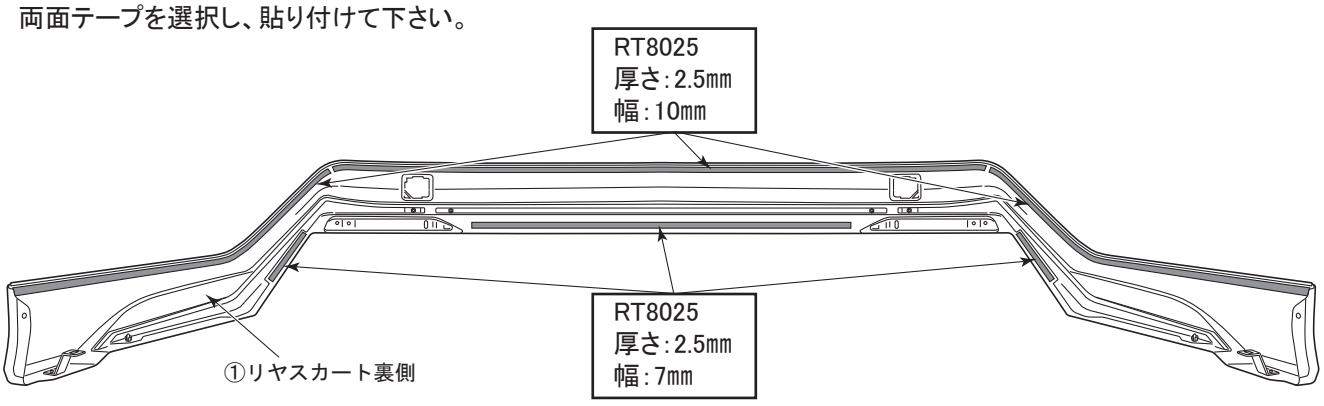
(5)牽引フックカバーの取り付け作業

1. ①リヤスカートに⑲牽引フックカバーLH、⑳牽引フックカバーRHを取り付ける。



参 考

1. 補修キット(品番:D2649-54810/MSD80-50H03)を使用してリヤスカートの取り付けを行なう際は、下図を参考に両面テープを選択し、貼り付けて下さい。



株式会社 トヨタカスタマイジング＆ディベロップメント
https://www.modellista.co.jp
「お問合せ先」
モデリスタコールセンター　TEL 050-3161-1000

脱脂作業要領書

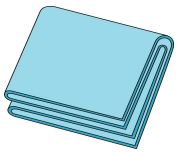
本書ではエアロパーツ等を取付ける際の脱脂作業について記載してあります。
取付け前に必ずお読みいただき、正しい要領で脱脂作業を行ってください。

エアロパーツの取付け・脱脂作業の要領を
解説動画でご覧いただけます。
右のＱＲコードよりアクセスのうえ
ご確認ください。

①エアロ取付準備・脱脂　　（約 3 分）
②エアロ位置決め・取付・圧着（約 6 分）
③デカール準備・水貼り・圧着（約 4 分）
合計　約 13 分

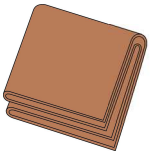
■　取付け時の脱脂作業に必要な工具等


水拭き用バケツ


合成セーム皮


脱脂剤用
スプレーボトル


ゴム手袋


DRY 用
ウエス


WET 用
ウエス


イソプロピルアルコール(IPA)
※純度 100%推奨

■　脱脂作業上の注意事項

1．ホコリ・チリ等のない換気の良い作業場で作業を行ってください
2．隣接する場所で、ワックスがけやポリッシュ作業等は行わないで下さい。
　※飛散した油脂やワックス等の成分が車両に付着してしまいます。
3．脱脂剤を取り扱いの際は、眼・皮膚に触れないように保護具を着用のこと。
4．脱脂剤を取り扱いの際は、作業場に火気・熱源のないことを確認すること。
5．脱脂剤を取り扱いの際は、蒸気を吸い込まないように作業場内の換気に注意のこと。

⚠注　意・・・・注意事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等のおそれがあることを記載しています。

アドバイス・・スピーディーに確実に作業していただく上で、知っておいていただきたいことを記載しています。

★脱脂作業概要《重要》

◎【脱脂作業】とは、取付け面の表面に付着した油脂分を取り除き、両面テープの性能を十分に発揮させるための重要な下地処理です。
下地処理が不十分だと、両面テープの性能が著しく低下して、浮き・ハガレ脱落などの不具合を起こす場合があります。
大変に重要な作業となりますので確実に行ってください。

◎ 脱脂剤は、取付け面に付着した油脂分を浮かび上がらせて、ウエスへの吸着を促す溶剤です。
脱脂剤で取付け面を拭いただけでは、十分な脱脂は行えません。
≪脱脂作業前に≫以降の作業要領を十分に理解したうえで作業を行ってください。

■　脱脂作業前に

- 取付け面のホコリ・チリ等の汚れを十分な流水で洗い流す。
  汚れのひどい場合は、洗浄剤を使用して汚れを落とし、洗浄剤を十分に洗い流すこと。
- 取付け面にコーティング等を施工されている場合は、除去剤・コンパウンド等を使用し除去してください。除去後、十分に水洗いを行ってください。
  ※コーティング剤が残っていると両面テープはハガレます。
- 水洗い後は、取付け面に付いた水滴を完全にふき取ってください。

■　脱脂作業要領

- 取付け面の洗浄を行い、固く絞った合成セーム革等を使用し拭き上げて水滴をしっかりと取り除く。

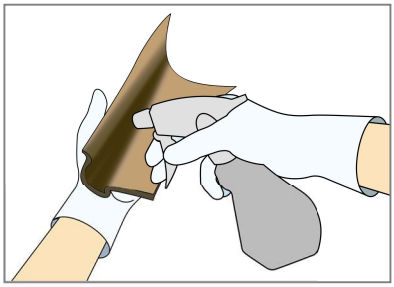

水拭き用バケツ


合成セーム皮

- スプレーボトルに入れた脱脂剤をWET用ウエスに吹きつける。


WET 用ウエス

※　ウエスは清潔なウエスを使用して、拭き上げ時にクズなどが出ない素材を選んでください。

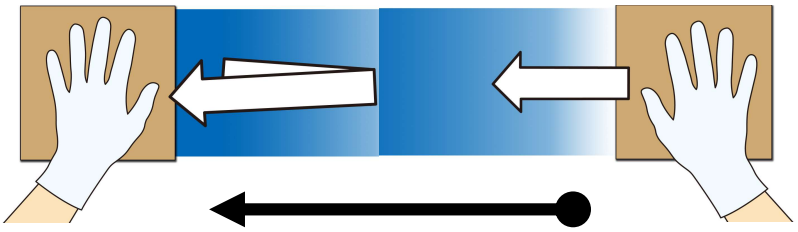


WET 用ウエスにスプレーボトルを５cm ほど離して、初回は１０回程度スプレーをして、ウエスが湿っている状態で取付け面を拭いてください。
以降は WET ウエス表面が乾く前に追加で５回程度スプレーし、常に湿った状態を保つようにしてください。

● 取付け面の脱脂作業を行う

①【WET 拭き】
脱脂剤を含ませたウエスで
１往復で拭き油脂分を浮き上がらせる

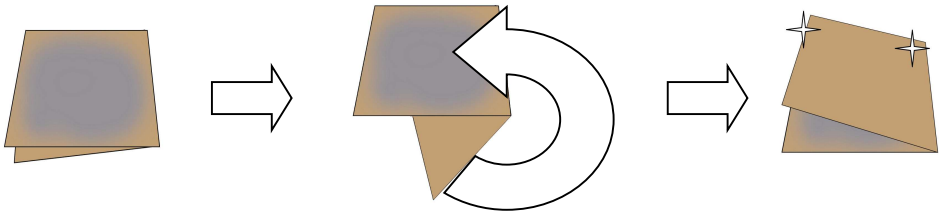
②【DRY 拭き】
DRY 拭きウエスで一方向に
拭き上げ油脂分を取り除く



１ブロック６０ｃｍ程度として両手に WET と DRY のウエスを交互に持ち
WET⇒DRY の順に拭き上げて脱脂する。
範囲が広い場合は１ブロック毎を数回に分けて行い、仕上げに面を通して拭き上げる

WET 拭きのあと脱脂剤が乾かないうちに DRY 拭きで一気に拭き上げを
行ってください。
（上図のように両手にウエスを持ち作業を行うと素早く作業できます。）

DRY 拭き作業後に拭き上げた面に、拭き跡が残っている場合は油脂分が
残っていますので、再度 WET・ DRY 拭きを行ってください。



WET／DRY のウエス共に３～５ブロック毎にウエス表面を折り返し
ウエスの拭き取り面が常に清潔な状態で作業を行ってください。

汚れたままのウエスを使い続けると、ウエスに拭き取った油脂分が取付け面に
再び付着して、エアロパーツの浮き・ハガレの原因となります。

脱脂作業がしっかり行われている取付け面は、DRY 拭きを行った際に
ウエスへの抵抗が増して、拭き上げが重くなります。
作業前と作業後のウエスの抵抗感を目安に、脱脂を行ってください。

脱脂後の取付け面には、指などを触れないように作業を行ってください。

脱脂後は長時間放置せず、すぐに作業を行ってください。

チリ・ホコリ等が付着しないように、十分注意してください。
パーツの取り付け方法は、各パーツの取扱説明書ならびに取付要領書に
したがって行ってください。